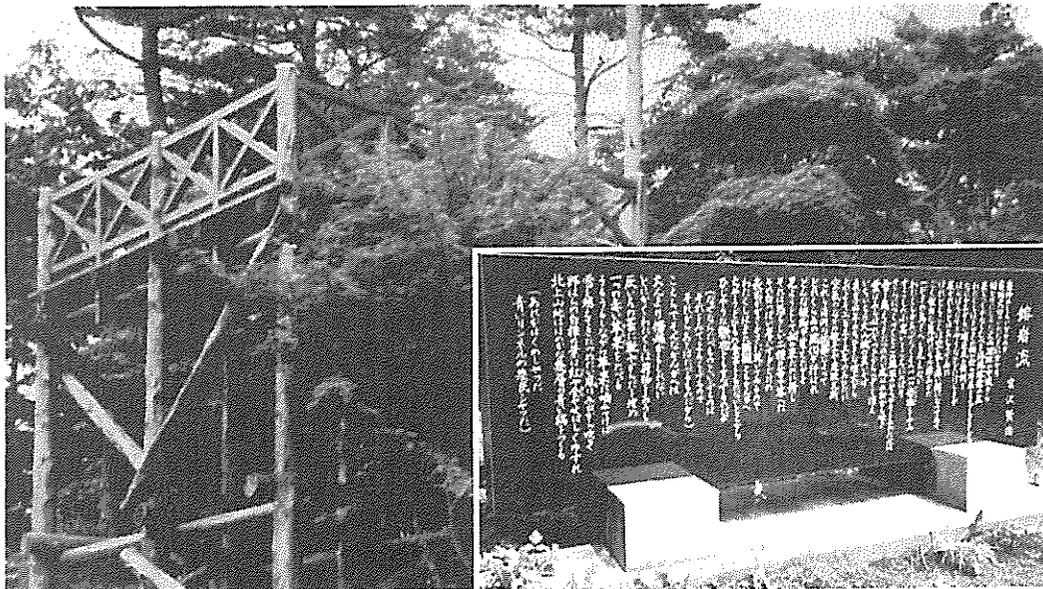


岩手郡医報

平成7年7月 No49
編集 発行
岩手郡医師会
題字 雫石町高橋孝先生



岩手山焼走り国際交流村にある宮沢賢治詩碑

東北自動車道西根 I.C から約10分、岩手山の中腹から広がる荒涼とした黒い溶岩流は焼走り溶岩流と呼ばれ、長さ約3.5km、末端の幅1.5kmに及び、岩手山の噴火当時のままの姿を見てください。(西根町観光ガイドより)

西根町はこの付近一帯を「岩手山焼走り国際交流村」として整備し、岩手山銀河ステーション天文台あり、全25棟のキャビンが林間に点在し、本年5月には全50サイトのオートキャンプ場(給排水施設、電源コンセントを備えている。)がオープンし、夏休みにはあちこちにキャンプ村が多数出来上がるという一大キャンプ村となります。また近々、付近に温泉の掘削も進められている。

宮沢賢治が歌った「鎔岩流」の詩碑(写真)の側に展望台が新設された。(M. S記)

目次	
宮沢賢治詩碑..... 1	平成6年度・特別会計決算書..... 8
岩手郡医師会通常総会会長挨拶..... 2~3	監査報告書..... 8
報告 郡市医師会地域医療・医政担当理事 連絡協議会..... 3	学術講演 「肺ガンの臨床」吉田雅美先生... 9
郡市医師会福祉担当理事連絡協議会..... 3~4	特別講演 「石川啄木と宮沢賢治」遊佐昭吾先生..... 9~10
産業医部会..... 4	第3回岩手郡医師会ゴルフコンペ..... 10~11
広報・健康教育・いわて医報編集委員連絡協議会... 5	第三回岩手県北産婦人科医会周産期研究会... 12
労災診療費レセプトの様式変更について..... 5	弔 辞 高橋 牧之介..... 12
社会保険集団指導と生保指導について... 5	細井 信夫..... 13~14
医師連盟より..... 6	随想「ワゲのワガラナイ字」高橋 孝... 14
その他..... 6	新入会員紹介..... 15
議事 平成6年度・一般会計決算書..... 6	岩手郡医師会役員会..... 16
平成6年度・休祭日当番医決算書... 7	編集後記..... 16

社団法人 岩手郡医師会通常総会

日時：平成7年6月24日(土)午後3:00

場所：盛岡市 H・メトロポリタン盛岡

- (1) 議長着席
- (2) 開会の辞
- (3) 故上田靖彦先生への黙祷
- (4) 出席者の確認
- (5) 議事録署名人選出
- (6) 会長挨拶
- (7) 報告事項
 - イ. 郡市医師会地域医療、医政担当理事会
 - ロ. 郡市医師会福祉担当理事会
 - ハ. 産業医部会
 - ニ. 郡市医師会広報担当理事会
 - ホ. 労災診療費レセプトの様式変更について
 - ヘ. 社会保険集団指導と生保指導について
 - ト. 医師連盟より
 - チ. その他

- (8) 議事
 - イ. 監査報告
 - ロ. 第1号議案
平成6年度 一般会計決算書の承認を求める件
 - ハ. 第2号議案
平成6年度 休祭日当番医決算書の承認を求める件
 - ニ. 第3号議案
平成6年度 特別会計決算書の承認を求める件
- (9) 閉会の辞

講演会

- A. 学術講演「肺ガンの臨床」
岩手医科大学第三内科
講師 吉田雅美先生
- B. 特別講演「石川啄木と宮沢賢治」
盛岡大学教授 遊座昭吾先生

懇親会

会長挨拶の要旨

混迷の政局・低迷する経済の中で、当医師会の会務は何ら支障もなく円滑に推移しております。

上田副会長が5月24日に逝去されました。医師会のため副会長として、会の運営に寄与くださいましたのに残念なことであります。

安らかなご冥福を祈るのみです。

昨年来の我が国における社会動向に目を転じますと、政局の混戦と経済の不振という二つのマイナス要因による悪循環は目を覆うばかりでした。各政党は具体的な政治理念を示さぬまま離合集散を繰り返し、政党というよりも選挙のための互助会と誹謗されてもやむを得ない様相であります。

一方、経済の低迷もその極に達しつつあり、巷で噂される産業の空洞化は既に完了しているのではないかと疑われるほどです。

我々の担う国民医療は、社会保障制度の枠内にあるから、一日も早く政治経済が安定しなければ、どうにもならないわけです。一時も早く政治経済の安定を期待するものです。

次回医療法改正は、医療審議会で審議が始まっています。次回医療法の改正では、今後見込まれる公的介護保険制度の制定が要因として、介護保険制度に関連する部分が次回改正の中心になると指摘されています。具体的には医療法人制度の見直しが最大の焦点とな

るといわれております。

それから療養型病床群については、特例許可老人病院や老人保健施設などの一歩化を図ることが必要と改めて認識しています。同時に老人医療の中で施設体系を一本化しなくてはならないということで、次回改正で一般医療機能を外すことではないかと思えます。

次期診療報酬改定についてですけど、平成6年度は二回に分割した診療報酬の改定がありました。その余糧がさめやらぬまま平成7年度に入ったわけです。診療報酬の効果は、その翌年に実るものですが、平成7年度は昨年10月の改定結果ができていないまま、平成8年度改定の論議にはいるという異常事態といわざるを得ません。全力をつくして医療社会の危機を突破しなければなりません。

消費税問題については、3%の消費税導入時における消費税への転嫁について吟味する必要があり、それを決定した中医協こそが不合理的を究明する格好の場所であります。この問題については約束どおり消費税を中医協の議題とし、すでに作業が始まっていると聞く。

診療報酬上の消費税の取り扱い、消費税が導入された平成元年に、消費税導入による仕入れコストを勘案して、0.76%引き上げられ、その後診療報酬改定では、医療経済実態調査による収支差に着目して引き上げている。今回の調査結果の診療報酬上の取り扱い

を、来年度に予定される改定時とするか、消費税引き上げも予定される平成9年度とするのか、今後議論されることになる。

政府が消費税アップの前に悔いの残らない究明をすべきです。

平成7年度岩手郡は、来年の1月に個別指導があります。既にご案内の通り7月4日岩手県医師会館で集団指導を予定しています。会員はもとより事務関係者も参加して指導を受けてください。

ところで、高齢者にたいする福祉が地方に

委譲され、地域保健法も成立、曲がりなりにも地方の時代が幕を切って落とされました。

在宅医療・介護支援センターを発足させ、チーム医療システムの確立を目指さなければならず、かかりつけ医の在宅医療の診療にかかわる問題についても、地域医師会独自の工夫・活躍が期待されています。

地方の時代、イコール「地域医師会の時代」といっても過言ではありません。会員の意識の改革と、医師会活動への積極的参加を求めるものであります。

報告

〈郡市医師会地域医療・医政担当理事連絡協議会〉

理事 及川 忠 人



及川忠人 先生

日時：平成7年4月22日(土)
午後3時より
場所：岩手県医師会館
3階 中会議室
進行：常任理事
鈴木 恒 男 先生

- 6 日医医療経済実態調査について
- 7 東北医連医政科学学会について
- 8 阪神大地震（救護班派遣）について
- 9 その他

3 協議

- 1 県成人病検診管理指導協議会への対応について
- 2 在宅介護支援センター、訪問看護ステーション設置について
- 3 老人デイケアについて
- 4 その他

報告事項では8の阪神大地震への救護班派遣についての報告があり、県医師会としての活動状況が報告された。協議事項の中では、在宅介護支援センターや訪問看護ステーションの設置について総論的な報告が成され、今後の老人デイケアの重要性が強調され診療所併設が今後の課題であると方向が話された。その他では災害対策についての見直しの必要が北上医師会の代表から提言され、石川県医師会会長は積極的に取り組む姿勢を表明した。

1 会長挨拶：この協議会は本年度初の協議会であり、県医師会の中核を占める協議会であり宜しくご協議いただきたい。県医師会は財政が逼迫しており、財政検討委員会を設置したところであるが、会費の値上げはやむを得ないと考えていると述べた。

2 報告

- 1 県成人病検診管理指導協議会について
- 2 県精度管理専門委員会について
- 3 岩手県医師会臨床検査精度管理委員会について
- 4 医療情報システムについて
- 5 日医医政シンポジウムについて

〈郡市医師会福祉担当理事連絡協議会〉

理事 坂 井 博 毅



坂井博毅 先生

平成7年5月20日(土)午後3時より、岩手県医師会館、2階、第2会議室において郡市医師会福祉担当理事連絡協議会が開催されました。

平成6年度福祉活動状況、日医年金、各種保険加入状況、弔慰金及び入院見舞金の支払い状況、日曜一日間ドック利用状況、平成7年

度各種大会開催日程などの報告がなされ医師年金の加入促進、生保、損保、グループ保険の加入促進、球技大会などについて協議が行われた。以下その主な連絡事項について報告する。

第47回親睦野球大会は紫波郡医師会が担当し、平成7年8月27日(日)に開催されます。わが岩手郡医師会も昨年度以上の成績をめざして、健闘したいという会長先生の意気込みです。ので、より多くの会員の先生方の参加を希

望致します。

第29回親睦ゴルフ大会は、二戸医師会を中心に久慈医師会とわが岩手郡医師会が担当で、平成7年9月10日(日)、日本ライベックスカントリークラブ軽米コースで開催されます。ホスト医師会となりますので、より多くの先生方のご参加を得て、大会を盛り上げていただきたいと思えます。

尚、昨年度より始めました岩手郡医師会長杯争奪ゴルフ秋季大会も9月又は10月に安比高原ゴルフクラブにおいて開催予定です。奮ってご参加下さい。

第24回岩手医家美術展が岩手医家芸術クラブが担当し、岩手県医師会館において11月開催予定です。正確な開催日程は後日、いわて医報にて案内があると思えます。

平成7年度「日曜人間ドック」が4回行われます。第1回目は平成7年5月14日に既に行われましたが、今後、7月16日、11月19日、平成8年3月10日の3回、岩手県予防医学協会本所において行われます。大いにご利用下さい。

医師年金制度の一部改正について。

昭和43年10月に会員に福祉事業の一環として発足しました医師年金制度は、多くの会員の支持を得て、我が国有数の私的年金制度に育成されましたが、昨今の金融情勢の悪化によりまして、3年前から財政決算は赤字とな

り、このままでは制度維持が困難な状況となり、制度の見直しが日本医師会年金委員会、生涯設計委員会で約1年間協議され、現況下では制度改正もやむなしとの結論に至り、会員への周知方依頼が、日本医師会長より岩手県医師会長あてに、本年4月5日付でまいりました。その内容の主なものは以下の通りです。

1) 支給率の見直し

基本年金、加算年金とも新規加入者及び既加入者の今後の掛金分に対し、適用する支給率を改定する。

2) 既積立加算年金の調整

既積立加算年金額については、選択した年金の型に応じて、次の通り引き下げる。

10年保証終身年金は一律10%カット、90%支給

15年保証終身年金は一律10%カット、90%支給

確定年金は平均余命延長の影響を受けなため調整を行わない

3) 新制度に以降する際の特例措置

受給者は現行規定において脱会は認められていないが、新制度になじまない受給者については、1年間に限り任意脱会を認める規定を設ける。

4) 制度改正は、平成7年10月1日から施行する

以上医師年金制度の重大な一部改正が成されましたので報告致します。

〈産業医部会〉



八角正司 先生

第1回日本医師会産業医の先生方の期限が、本年10月29日で切れます。10月30日付で変更になりますので、やがて送付されます更新手続用紙に記入の上、提出して下さい。該当者は7名です。来年度は、第2回目の認定医の更新があります。8名の先生方が該当しますが、自分の取

り、このままでは制度維持が困難な状況となり、制度の見直しが日本医師会年金委員会、生涯設計委員会で約1年間協議され、現況下では制度改正もやむなしとの結論に至り、会員への周知方依頼が、日本医師会長より岩手県医師会長あてに、本年4月5日付でまいりました。その内容の主なものは以下の通りです。

理事 八角正司

得した単位を確認して、足りない先生は、これからの研修を受講の上、準備して下さい。

産業医でありながら、まだ事業所との契約をしていない先生方は、契約の方向で折衝されるようお願いいたします。

従業員50名以上の事業所は、産業医を選任するよう義務づけられております。手続き用紙、その他、もし必要であれば、お送りしますので私宛にご連絡下さい。

〈広報・健康教育・いわて医報編集委員連絡協議会〉

理事 嶋 信



嶋 信 先生

平成7年6月10日(土)県医師会館において、広報・健康教育委員(合同となつての2回目)及びいわて医報編集委員との連絡協議会が行われた。

本年度の主な事業と予定について話し合われたので、主なものを簡単に述べます。

①いわて医報編集委員会及び発行

毎月第1木曜日に開催され、翌々月の発行について検討する。年間12回発行。また8月号は緑陰随想、新年号は新春随想と誌上医家美術展を掲載。

②広報・健康教育担当理事打合せ

③広報・健康教育委員、いわて医報編集委員連絡協議会

例年開催

④県民健康講座

本年度は岩手郡は岩手町にて開催。メインテーマは「くらしと健康」共通テ

マ「骨粗鬆症」

⑤テレビ放送

本放送は毎月火曜日第2週、第3週の11:00~11:15、再放送は第4週、第5週。

⑥ラジオ放送

毎日曜日(9:30~9:40)、サブテーマなし。

⑦健康セミナー

昨年10月15日に行われた石川育成県医会長の「かかりつけ医」岩手医大平盛勝彦教授の「心肺蘇生法を習いましょう」と同じように県医師会、岩手日報、(株)ツムラの共催で本年も10月21日(土)に行われる。

⑧県民健康教育センターの整備

県医師会館3階視聴覚室の改変として、現在60~70名収容のところ、テレビブース2ヶ所及び症例写真展示を撤去し、約100名収容可能とする。もう一つは、ビデオソフトの購入予定である。

⑨会員の他紙(誌)への掲載記録

⑩日医及びブロック広報部門との連携

などが話し合われた。

〈労災診療費レセプトの様式変更について〉

理事 篠村 達雅



篠村達雅 先生

労災の「診療費請求書」及び「診療費請求内訳書」(レセプト)について、7月請求分から使用する様式が変更されることとなり、労災指定医療機関には6月14日付をもって

連絡されております。また同時に労働福祉事業としてのアフターケア実施要領の制定の一部改正の連絡もあり、特にアフターケア委託費請求書、義肢採型指導料請求書及び外科後処置委託費請求書には、請求月日を記入しないよう事務の方に周知徹底お願いします。

〈社会保険集団指導と生保指導について〉

理事 佐々木 久夫



佐々木久夫 先生

平成7年7月4日(火)午後6時より岩手県医師会館3階視聴覚室において、岩手県生活福祉部による「保険診療に関する診療内容、診療報酬の算定及び請求事務について」のお話があります。各医療機関の医療

事務職員など多数参加されるよう希望します。

また来年1月頃には個別指導が郡内に行われる予定です。

これは新規開業の方、審査会、保険者側からの情報によるもの、長期未指導のもの、1件あたりの高点数のもの或は点数の低すぎるものなどが主な対象となる。

〈医師連盟より〉

会長 高橋 牧之介

来る7月23日(日)に投票が行われる参議院議員岩手選挙区に岩手県医師会は元厚生省

児童家庭局長の清水康之氏(56才)を推薦することになりました。

〈その他〉

○高橋会長より

平成7年6月17日(土)に行われた岩手県医師会代議員会において、平成8年度からの県医師会費の値上げについて話し合わせ、A会員

については従来の6段階から7段階に改められ、最高は年間299,000円となった。以下の通りとする。

平成8年度岩手県医師会会費賦課

平成8年度岩手県医師会会費賦課・徴収を下記のとおり定める。

会費区分	級別	会費金額	摘 要
A	1	55,000	開業医、私立病院長又は開業者 (医業収入額500万円未満)
	2	99,000	〃 (〃 500万円～2,000万円未満)
	3	143,000	〃 (〃 2,000万円～6,000万円未満)
	4	187,000	〃 (〃 6,000万円～10,000万円未満)
	5	231,000	〃 (〃 10,000万円～14,000万円未満)
	6	275,000	〃 (〃 14,000万円～18,000万円未満)
	7	299,000	〃 (〃 18,000万円以上)
B	1	38,500	勤務医 (教育職、行政職、研究職)
	2	55,000	〃 (医療職)
C		12,000	医大副手、大学院生、AB会員以外の者

(注) A会員の級別を区分する医業収入金額とは、給料、役員報酬等の個人的なものではなく、あくまでも開設乃至管理している診療所乃至病院の医業における一年間の総収入金額を指すものである。

○社会保険審査会より——副会長 西島康之

△レセプトに病名の多過ぎる例が多い。
△あきらかに病名モレと思われる例が多い。

△薬品の効能、効果についてもう一度再検討して下さい。特に査定対象疾患について。

議事

第1号議案

平成6年度・一般会計決算書

自 平成6年4月1日
至 平成7年3月31日

社団法人 岩手県医師会

単位：円

(1) 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
繰越金費	3,810,000	5,654,333	前年度より繰越
会費	4,665,000	4,568,000	A 会員 95,000×39人=3,705,000円 B 会員 1期分 12,000×23人= 276,000円 2期分 12,000×26人= 312,000円 3期分 11,000×25人= 275,000円
補助金	85,000	508,000	県民健康講座 425,000円 地域医療 28,000円 学校医 55,000円
雑収入	25,000	11,621	預金利息
合 計	8,585,000	10,741,954	

(2) 支出の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
[事業費]	(7,535,000)	(3,601,311)	
会 議 費	2,625,000	1,709,982	総 会 (2回) 902,582円 役 員 会 (5回) 520,006円 総 務 会 (5回) 207,504円 監 事 会 (1回) 79,890円
生涯教育費	1,500,000	0	
地域保健	600,000	504,422	県民健康講座 504,422円
広報発行費	610,000	263,170	印刷費(3回) 226,600円 発送費(3回) 36,570円
旅 費	600,000	634,550	
交際費	1,000,000	71,127	
慶弔見舞金	300,000	95,000	
広告費	100,000	158,280	
雑 費	100,000	114,780	
予 備 費	100,000	50,000	
[事務費]	(1,050,000)	(699,423)	
事 務 費	1,050,000	699,423	事務連絡費 141,890円 通 信 費 63,909円 消 耗 品 費 63,206円 印 刷 費 56,650円 リ ー ス 料 221,244円 事務処理費 120,000円 雑 費 32,524円
合 計	8,585,000	4,300,734	
次期繰越金	-	6,441,220	収入金額10,741,954円－支出金額4,300,734円

第2号議案

平成6年度・休祭日当番医決算書

自 平成6年4月1日
至 平成7年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

(1) 収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
繰 越 金	1,218,000	6,887,656	前年度より繰越
補 助 金	3,777,000	3,846,000	
雑 収 入	5,000	8,282	預金利息
合 計	5,000,000	10,741,938	

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
報 償 費	3,820,000	2,466,956	健康教育費 1,380,000円 県医野球大会 441,300円 県医ゴルフ大会 78,700円 厚生対策費 566,956円 会 議 費 40,800円
需 要 費	400,000	40,800	
旅 費	400,000	415,000	
役 務 費	180,000	0	
予 備 費	200,000	0	
合 計	5,000,000	2,922,756	
次期繰越金	-	7,819,182	収入金額10,741,938円－支出金額2,922,756円

第3号議案

平成6年度・特別会計決算書

自 平成6年4月1日
至 平成7年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

単位：円

収入の部	金額	摘要
	円	
繰越金	6,630,747	前年度より繰越
岩手県医師会	857,204	乳児等医療費助成事業事務交付金
県医師信用組合	129,000	事務委託費
県医師国保組合	114,000	支部交付金・保健体育事業助成金
いわて医師協	82,000	平成6年度支部交付金
雑収入	91,431	預金利息他
合計	7,904,382	

単位：円

支出の部	金額	摘要
	円	
岩手医学会	268,000	平成6年度会費4,000×67人
盛岡市医師会	100,000	兵庫県南部地震義援金
定款変更費用	422,038	郡医師会定款作成に係る一切の費用
合計	790,038	
次期繰越金	7,114,344	収入7,904,382－支出790,038

監査報告書

平成6年度社団法人岩手郡医師会決算書について

1. 平成6年度岩手郡医師会一般会計決算書の承認について
2. 平成6年度岩手郡医師会休祭日当番医決算書の承認について
3. 平成6年度岩手郡医師会特別会計決算書の承認について

上記決算については慎重に監査いたしましたところ、その収支は適正妥当なものと認めます。

平成7年6月7日

社団法人岩手郡医師会

会長 高橋 牧之介 殿

社団法人岩手郡医師会

監事 和田 栄吉 高橋 克郎

◇学術講演◇

「肺ガンの臨床」

岩手医大第三内科講師 吉田雅美先生

岩手医大第三内科
吉田雅美先生

講演要旨

先生は新潟県高田市出身で、昭和56年岩手医大を卒業されたあと、岩手医大第三内科に入局され、昭和62年には岩手郡医師会に入会（滝沢中央病院勤務当時）

し、県医師会野球大会（於江刺市）にも郡医師会会員として一緒に参加した先生でもあり、今回大学での呼吸器内科の研究の一端を話してくれました。

最近、新聞によれば胃ガンを凌ぐ勢いで肺ガンによる死亡が増えているという、ショッキングな統計データを示された。喫煙による影響も無視できないともいわれている。それも喫煙本数/日×喫煙歴（年数）が重要な指標となるようだ。

大学での症例を提示し、診断の決め手としては、胸部X-写真、断層写真、CTによる

もの、また喀痰の細胞診によって扁平上皮、腺上皮細胞の変化に注意しながら、気管支鏡による疑い組織診によって病理的確定診断など診断技術の進歩により、早期の肺ガンも発見されることも多くなり、早期治療により外来通院でのFollow upも多数可能となったという。

腫瘍マーカーの一つにシフラ（CYFRA-Cytokeratin 19 Fragment）というのがあり、中でも特に扁平上皮癌患者では陽性率が高く、また良性患者の間質性肺炎でも約30%位の陽性率となることがあるので注意が必要である。

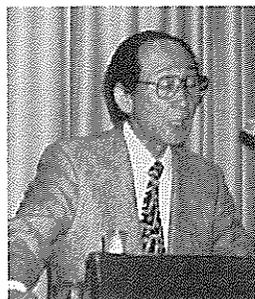
一般開業医の先生方に対して、こんなことに注意してほしい。——定期的に一般検査として胸部のX-写真をとった場合、前にとった胸部X-写真があったら対比して患者さんに説明することが大事ではないでしょうかと強調された。

非常に解り易く、日常臨床にも心配りしたお話しであった。またこれから東北地区の呼吸器内科の先生方との交流と治療成績のアンケート調査を実施する予定とのこと。今後ますますの発展を期待したいものと思います。

◇特別講演◇

「石川啄木と宮沢賢治」

盛岡大学教授 遊佐昭吾先生

盛岡大学教授
遊佐昭吾先生

講師の遊佐昭吾先生は、玉山村洪民の万年山宝徳寺の御子息として生れ育ち、本日の演題にもある「石川啄木」とは因縁、いわくつきの縁があることが改めて解った。というのは、

石川啄木は遊佐先生の祖父が早逝されたため、幼少の頃、北岩手郡洪民村（現在の玉山村洪民）の宝徳寺に居を構えここで石川一家は生活していた。

父石川一禎、母工藤カツの長男として、1886年2月20日の厳寒期に南岩手郡日戸村（現在の玉山村日戸）の日照山常光寺に生れ、事情あって戸籍には私生児として登録され、小学校2年秋まで母方の工藤姓を名のった石川一

（本名）は、青春期の多感な時期をここで過ごし、郷里洪民の風土、即ち、東に姫神山、西に岩手山を仰ぎ、北上川の清流にのぞむこの洪民の風土をこよなく愛し、万年山宝徳寺周辺の四季は、地から湧くような声で山鳩は春を告げ、全山にひびく閑古鳥の声に初夏を知り、時として啄木鳥の樹を叩く音が澄んでこだましてくる。蟬時雨が降るごとくひびき、そして万年山に野分がわたり、木枯らしが吹く——こんな光景が好きだったようだ。後には縁あって地元の洪民小学校の代用教員を経験し、多くの五七五の句を読むに至った。その後の流浪の歌人としての人生は皆さんよくご存じのことと思います。

後にこの石川啄木を評論した人は、劇作家の井上ひさし氏、金田一春彦氏などがあり、それぞれの内容もかなり辛辣なものであったという。特に井上氏は、うそつき、なまけもの、

サギ師、どろぼうなどなど19項目に及ぶ言葉を羅列し、批判しているという。

中間子理論でノーベル賞受賞の物理学者湯川秀樹博士は、啄木の歌「いのちなき砂のかなしさよ さらさらと握れば指のあひだより落つ」が自分の研究とダブル様な錯覚に陥った一人であったという。

また歌手谷村新司氏は、彼の歌唱曲「昂」の歌詞の中にも歌人石川啄木の心にひかれるものがあり、それを歌いあげ、中国、韓国にも彼の歌を広める努力を続けている一人でもあるという。

啄木研究者が一堂に会する国際啄木学会（会長岩城之徳氏、事務局長は遊佐先生）というのがあり、第1回は盛岡大学を会場として平成2年7月21日、22日に、台湾、韓国、中国、アメリカなど海外からの参加者もあり盛大に旗揚げし、今までも東京、台湾、函館、京都などで開催し、今年が第6回目で、海外韓国ソウルで8月18日～20日まで開催が予定されており、既に国内からは77名の参加予定があるという。これからますます国際化され、石川啄木の名声が発展するものと思われます。

また一方、啄木より10年後の1896年8月27

日に稗貫郡花巻町（現在の花巻市豊沢町）に質屋の父宮沢政次郎、母イチの長男として生れた宮沢賢治は、啄木の学んだ盛岡中学を終了したのち盛岡高等農林に学んだ。来年がちょうど生誕100年（石川啄木誕生110年）と二人の遺徳を偲んで100年に一ぺんの区切りの年にあたり、岩手県は他県に類をみない知事を先頭にして、地元花巻を中心として一大イベントを企画しているという。また盛岡駅前には岩手のうんだ三偉人として「石川啄木」「宮沢賢治」「新渡戸稲造」の肖像画と共に大きな看板が掲げられており、盛岡を訪れる人々に岩手県のイメージをアピールする好素材でもあり、好印象を与えているものと思われれます。

啄木のあまり良いイメージがないのに比べ、最近は賢治に関する作品の紹介など賢治の世界をイメージしたもの（例えば雫石町に7月にオープンする『ケンジワールド』）など、とみに目立つようである。（M. S記）

参考文献

- 「石川啄木」人と文学シリーズ（学習研究社）
「石川啄木の世界」遊座昭吾著（八重岳書房）

第3回岩手郡医師会ゴルフコンペ

と き：平成7年5月21日(日)

と ころ：安比高原ゴルフクラブ



ゴルフ大会参加者一同 於安比高原ゴルフクラブ



優勝したスタートホールの
土谷正彦 先生

今にも降り出しそうな雨雲の5月の日曜日に、第3回目となった岩手郡医師会ゴルフ愛好者の集いが、医師会員12名、医療関係者5名参加のもと、4パーティーに別れて（1名カード参加あり）、安比高原G.C.において行われた。

今シーズンは雪解けを待って、4月14日のゴルフ場オープン以来まだ1ヶ月足らずではあったが、フェアウェーの芝生も比較的周囲の新緑の風景とよくマッチして青々としてお

り、気持ちいいスタートであったが、開始早々3ホール目あたりから雨がポツポツと降り出して傘をさしてのラウンドとなった。

各パーティー毎に同じ位のスコアの方々同志のライバル心(?)もあって、お互いに一打一打慎重に打っているのが印象的であった。

中でも一人黙々とマイペースの方もおられたようですが……。まだシーズンに入っていないため、練習不足の方、及び今回が今シーズン初ラウンドの方や、今回自分のスコアにあまりにも不満の方は次回捲土重来、納得のいくゴルフになるように奮起してほしいものと思います。

上位入賞の方々は、オフィシャルハンディもシングルで、ベテランでもあり、こころ一番でのうまさは抜群であり、中々割って入るのはむずかしい部分もあると思いますが、そこはゴルフのおもしろさで、ダブルペリア方式のハンディに期待して精一杯頑張れば次回以降思わぬ伏兵の登場も期待できるものと思われまます。

表彰式のパーティーの席上、今年度の県医師会ゴルフ大会も9月10日に軽米町の日本ライベックスC.C軽米コースにて開催さ

れますが、二戸、久慈医師会と共に岩手郡医師会も担当医師会であり、ある先生は、今大会でのスコアに納得できないので、9月の開催前に一度現地視察を兼ねて、もう一回(第4回郡医師会大会は10月頃予定)現地で行いたいとの声があった。実現できれば幸いであろう。

その際は今回の参加者は無論のこと、今回やむなく参加できなかった方々も沢山参加して、秋の県医師会大会の練習ラウンドになれば幸いと考えます。

ベストグロスで優勝した土谷先生は、「今日は同伴者にも恵まれ、90位を目標にラウンドしたと思わぬ結果が出て驚いている。優勝は久しぶりで、次回以降も自分のハンディ8前後を維持できる程度のスコアで回りたい。」と謙虚に話してくれた。

また、土谷先生は、昨年のIBCカップで予選を通過し、今年は(会場南部富士C.C.、8月25日、26日)シード選手として参加、好調さを維持して、ホームコースでの上位入賞をめざして存分に活躍が期待されます。

最後に雨の中協賛して下さった各社の方々に感謝します。

成績は次の通りです。

〈安比高原ゴルフクラブ〉

H 7. 5. 21

順位	氏名	十和田	岩手山	GROSS	HDCP	NET		
1	土谷 正彦	37	38	75	3.6	71.4	優勝	B・G
2	久保谷 康夫	39	38	77	3.6	73.4	準優勝	小波
3	坂井 博毅	40	45	85	10.8	74.2		
4	吉島 一夫	50	51	101	25.2	75.8		
5	佐藤 郁郎	53	49	102	25.2	76.8		大波
6	倉田 矩正	48	52	100	21.6	78.4		
7	柄内 秀彦	51	55	106	24.0	82.0		
8	高橋 牧之介	58	60	118	36.0	82.0		
9	及川 忠人	56	53	109	26.4	82.6		
10	嶋 信	43	52	95	10.8	84.2		
11	瓜田 明義	57	60	117	32.4	84.6	B. B	
12	西島 康之	61	61	122	36.0	86.0	B. M	平和

〈参 考〉

奥瀬 徳弥	45	40	85	8.4	76.6
永山 康秀	49	51	100	21.6	78.4
中村 由紀夫	52	48	100	19.2	80.8
村上 優	57	49	106	25.2	80.8
藤石 茂夫	54	56	110	27.6	82.4

第三回岩手県北産婦人科医会・周産期研究会

第三回岩手県北
産婦人科医
周産期研究



特別講演をした滝沢中央病院院長
国本恵吉 先生



座長
坂井博毅 先生

〈特別講演〉

「岩手県北の産育史から こなせばさまの記録と安藤昌益の 母性保護思想」

滝沢中央病院 院長
国本恵吉

代表世話人 坂井博毅

平成七年六月十日(日)第三回岩手県北産婦人科医会周産期研究会が、日本母性保護産婦人科医会岩手県支部、日婦産岩手地方部会、岩手県医師会、岩手郡医師会の後援のもと、医師、助産婦、看護婦、その他パラメディカルの総勢約九十名が参加して、ホテル安比グラウンドに於て、盛大に開催されました。

本会はおよそ二年前、県北の周産期医学の向上をめざして、二戸市の川村英一先生、芳賀健一先生、斉藤政孝先生のご尽力により、産声を上げた。平成五年六月第一回大会が二戸市で盛大に開催され、昨年は善積昇先生、小笠原敏浩先生、竹下敏光先生のご努力で第二回久慈大会を盛り上げていただきました。今回は私ども岩手郡医師会が担当させていただいたわけですが、基幹病院であります県立沼宮内病院に産婦人科が無くなったこと、開催すべき都市型の適当なホテルが無く、立地条件の悪い、遠隔地のレジャーホテルでの開催、また、岩手郡といえども、大変広く、打ち合わせのための会合に時間がかかることなど、ないないづくしで、会員の方々の御賛同が得られず、参加者が少ないのではないかと大変心配致しました。しかし、心配をよそに、多くの会員の方々の御賛同を得まして、一般演題が八題、特別講演一題の充実した研究会となりました。

特に特別講演は「岩手県北の産育史から——こなせばさまの記録と安藤昌益の母性保護思想」と題し、滝沢中央病院院長の国本恵吉先生が積年に渡り、集められた膨大な資料や写真をもとに、わかりやすく、しかも大変興味深く岩手県北の産科学の歴史を講演され、会員各位に多くの感動を与えました。そ

して盛大な拍手の内に研究会は終了し、懇親会に移ることが出来ました。自然と真心の二日間、「良く学び、良く遊び」の充実した初夏の高原でのひとときを、お過ごしいただいたわけです。

先にも述べた通り、本会は主として、同じ県北に働く、看護婦さん、助産婦さん、その他、パラメディカル、コーメディカルの方々の研鑽および交流の場としたいと言う主旨により、それぞれがうちとけて、研究会、懇親会で会話がスムーズにいくように、各自の所属病院名を入れた名札を作成し交流を深めていただいた。

尚、昨年度の代表世話人であられました善積昇先生が、今年度の県立病院の人事異動により、県立高田病院の院長として御栄転されましたが、遠路はるばる御参加いただきこの会を盛り上げていただきました。又、今回から同じ南部藩ということで、八戸赤十字病院の佐藤顕先生、牧野かおり先生、苫米地レディースクリニックの苫米地怜先生、秋田県鹿角市鹿角組合病院、斎藤正信先生にも御参加いただきました。まことにありがとうございました。



第3回 県北産婦人科医会・周産期研究会
於 ホテル安比グラウンド

弔辞



上田靖彦 先生

本日ここに岩手郡医師会副会長として長期に亘り医師会活動に、地域医療に尽瘁され、その功績甚大であった上田靖彦先生のご葬儀にあたり、岩手郡医師会会員一同と共に、謹んでご逝去を悼み、ご

冥福をお祈り申し上げます。

先生は、去る四月十七日午前中に私に電話で、体調が思わしくないで午後、県立中央病院に入院する。貧血が強く、免疫機能が低下しているようなので症状が快方に向かうまで、見舞いに来ないよう皆様に伝えて下さい、と普段と変りない元気な声でしたが、まさかあの声が最後になろうとは思ひもよらぬことでありました。病状は快方に向かっておられたとの事でしたが、病魔はついに先生を奪うこととなり、まさに哀悼痛恨の情に耐えられません。

私は五月二十五日の朝、先生の訃報に接し、驚きと悲しみに閉ざされて仕舞いました。

ご霊前に、お別れの言葉を申し上げることにになりましたのは、誠に悲しく残念な事です。

先生は、昭和三十六年岩手医科大学医学部を卒業後、岩手医科大学第一内科、岩手県立中央病院、盛岡市立病院に勤務され、昭和五十六年九月西根町国民健康保険西根病院院長として赴任されました。以来先生は、郡医師会の皆さんに推され郡医師会の理事、副会長となり、長期に亘って診察の傍ら医師会活動、地域医療に貢献され、会員の指導者として地域住民の皆様が安心して望ましい医療を受けることの出来るような諸条件を整えることに尽力され、その功績は甚大なものでありました。

このような功績により、平成元年には自治体

立優良病院として、全国自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会両会長よりの表彰を受賞し、平成二年には自治体優良病院として自治大臣表彰を受けられ、引き続き奉仕に尽瘁しておられました。

先生は、学究の徒で会員の学術面、生涯教育に熱心であらせられ、よく会員の意見を聞かれ、よき相談相手になられておりました。先生は決して自己主張を無理に通したり、自己顕示をなされたことは殆どなく、人徳が自然に先生の考える方向に動かしていたと思います。

医師会にあつては、緻密な思考力と卓越した指導力を遺憾なく発揮され、岩手郡医師会の運営に寄与されました。これからもご指導頂かなければならない時に有為な先生を失ったことは、当医師会としても甚大な損失で、痛恨の極みであります。

先生の数々の教訓を心に刻み、これを実践して医師会作りに努力することが先生のご恩に報いる道と信じます。

ご遺族の方々のお悲しみも如何ばかりかとお察し申し上げ、お慰めの言葉もございません。今や私達は、先生の幽明境を異にして、先生と再び相まみえることができなくなりました。

しかし私達は、先生が築き育て下さった岩手郡医師会を引き継ぎ、先生の精神を継承していく覚悟であります。

先生、何卒、我々を見守りながら安らかにお休み下さい。

先生のご遺影を仰ぎながら、数々のご功績とご人徳を偲び、安らかなご冥福をお祈り申し上げます。お別れの言葉といたします。

平成七年五月二十九日

岩手郡医師会会長 高橋 牧之介

弔辞



上田靖彦 先生

敬愛する上田靖彦先生、あまりにも突然なお別れに職員一同はもとより、地域の方々の驚き、ましてやご家族、御親族の方々の御嘆きはいかばかりかと深く心に想う次第でございます。

先生は、皆様御存じのとおり、岩手医科大学を卒業され、第一内科に入局、岩手県立中央病院、盛岡市立病院等を歴任され、昭和56年9月より西根病院院長として就任されました。以来十有余年に亘り、地

域医療の担い手として、文字通り粉骨砕身のお働きの上、学校医、医師会の役員、保険審査の委員等々、はたから拝見しておりましたが、朝早くから夜遅く迄よくお勤めになられ、医の進むべき道をお示しになり、私共のいたらなさを御自身、身をもって補っておられた様に思われます。

いま西根病院は、先生のご尽力により増築、改築、内容の充実と着々と進み、綺麗になりました。

先生は常日頃、患者の皆さんに負担のない医療を心がけ、患者さんを中心にして職員との心を心から願われておりました。又先生は、岩手山、八幡平に囲まれた風光明媚な西根をこよなく愛

され、御多忙な診察の合間、通勤の行き帰りに眺められる自然の移り変わりを良くほめてお話しになり、心の安らぎにされておりました。

先生

今日も晴れ上がった空に裏岩手がくっきりと美しく見えている病院で、この言葉をしたためています。

生者必滅、会者常離とは申せ、このお別れ、この悲しみは深く心にさざります。しかし、私共先生と一緒に過ごさせていただいた幸せを感謝

し、先生のお示しになった医の道をこれからも歩んでいきたいと思っております。

仕事を離れてゆっくり飲みたかったと今しみじみと思います。

先生、ごゆっくりお休み下さい。

さようなら

平成7年5月29日

西根病院副院長 細井信夫

随想

ワゲのワガラナイ字

平石町 高橋 孝

タイトルの字は私が一番喜んで書いています。書道界でも何度となく「皆が読める字」「皆が親しめる字」を書こうと、何度となく試みられたようである。しかし、特に私など不勉強の為か、書道展で漢字の書は読めないことが多い。一方漢字のみの人から「かな」は読めないと言う声をきくこともある。書かれている文字の意味も解らない書を外国の人ほどのような目でみるのだろうか？その答えは線の美を鑑るようである。しかし、それは私には書家の希望のようにも聞こえる。絵画でも凡人には難解な作品もあるが、外人の目には書ほど言葉を伴わないだけに理解し易いのではないだろうか。世界アルペン開催時絵画、書を展示したが、書についてはどのくらい理解されたか疑問である。漢字、かな、近代詩文の三つの書から解り易い書を選ぶとすれば、若い世代も入れて全て近代詩文が親しみ易いと言う。先日、書の集まりで主催者の挨拶のなかに「書き文字にワープロ等便利な機械が出てきているときに書を書いている皆さんは、益々貴重な存在になるだろう」と述べられた。なるほど自分も物好きだなあと考えながら挨拶を聞いたように思う。書道談義はこのくらいにして、私もワープロなるものをやらせられている。何処をひっくりかえしたら、何処を分解したらこの素晴らしい記憶装置を見ることができかなど、機械を見つめ、感心しながら、指は右のミッテルフィンガーしかないように叩いている。誰が打っても綺麗な、読み易い、解り易い字が書ける。しかし私信、特に手紙は冷たく感じると思う人が多いようだ。人も含めて非のうちどころの無い、全くものは冷たく感じると同じかもしれない。下手な字で、粗末に、急いで書いて読めない文字を書くよりはよほど文字本来の役目をなしているように思うが、このような機

械文字に対する冷たい感情はいましばらく続きそうである。私は字が下手で「先生は何時もドイツ語を書いているから字がペラペラなんだなア」などと下手な字を、人にかかわられている。最近横書きが多くなった。急いで、縦書きの感覚で旁から偏に続けると読めないペラペラの字になる。暖かく、美しい字を書きたいものと願っているが中々上手には書けそうもない。せめて私信は暖かく、綺麗な字を書きたいと思っている、辞書を片手に一筆、一筆初めてラブレターを書いた時のように時間をかけて丁寧に書けば私もまああ読めそうな字がかけそうだが、心が忙しく、無期的時間は有っても、有機的時間がないのか、せわしく、汚い字を書き続けている。「書記」は今学校の生徒会では聞かぬが、私が小さいころは、役場の書記をやっていると聞くと、偉い人と思ったものだ。書記を辞典で見ると、文字を書きしるすこと、文字を書きしるす職、かき役、上役の指示を受けて庶務や会計に従事する職員とあるが今の役場職員であり、字を書くことはプロである。ワープロを打ちはじめ、三代すぎると我が家の歴史は霧の中となると聞いて「自分史」なるものを打ち始めている。過去帳を見ても、百姓の子孫として武家の子孫の様なドラマは無いし、氏も無い先祖もあるが、先祖をたどる為に除籍簿なるものを取った。勿論明治時代のものだが、当時の書記の字が粗末で、先祖が何処から移籍してきたか、何処に移籍したか、特に漢字で書かれた数字が読めなくて先祖の生年月日、婚姻届の提出日、死亡月日を読み取ることができなかった。書記なるもの字が上手でなくても、解る字を書いておいて欲しかった。このようなことから当時ワープロがあったらよかったのと思うこの頃である。

新 入 退 会 員

◆ 入 会

- ①氏 名：齊木 巖 (県立沼宮内病院)
 ②年 令：58歳
 ③出身地：富山県滑川市
 ④出身校：岩手医科大学
 ⑤診療科目：脳神経外科
 ⑥勤務の時期：平成7年4月1日、沼宮内病院
 ⑦趣 味：園芸、盆栽、読書
 ⑧ひとこと：頭痛の患者さんの相談相手になればと考えております。

- ①氏 名：伊藤 昭治 (松尾診療所)
 ②年 令：63歳
 ③出身地：岩手県盛岡市
 ④出身校：岩手医科大学医学部
 ⑤診療科目：外科
 ⑥開業の時期：平成7年4月24日
 ⑦趣 味：サンダーゴルフ
 ⑧ひとこと：盛岡で生れ、盛岡で育ち、の割には盛岡の事を知りません。案外岩手郡のことを多く知っているかも知れません。冬はきびしいぞと周囲から言われますが、松尾村は私にとって最良の地となるかも知れません。新米(古米?)の小生をよろしく御指導お願い申し上げます。

- ①氏 名：大川原真澄 (滝沢中央病院)
 ②年 令：38歳
 ③出身地：茨城県出身(水戸一高)
 ④出身校：岩手医大卒
 ⑤診療科目：内科(現在は第3内科、専門はアレルギー、特に気管支喘息)
 ⑥勤務の時期：平成7年5月1日より滝沢中央病院に赴任しています
 ⑦趣 味：山登り(山歩き?)、旅行です
 ⑧ひとこと：地域のために少しでもお役にたてば、と考えております。宜しくお願いいたします。

- ①氏 名：鳥畑 吉夫 (東八幡平病院)
 ②年 令：大正14年11月11日生
 ③出身地：東京都新宿区
 ④出身校：日本医科大学
 ⑤診療科目：整形外科、リハビリテーション科
 ⑥開業の時期：昭和30年より東京にて、昭和46年より約20年間北海道で勤務
 ⑦趣 味：写真撮影、音楽(クラシック)鑑賞、スキー、登山、薔薇育成、等
 ⑧ひとこと：常日頃、心に思っかなか出来ることが二つあります。

その一、医業は片手間にすべき職業ではないという事は十二分に分かってはいても“趣味を主、医業を従”にしたいという贅沢な欲望。

その二、もう齢70歳、きわめて普通の人間にならねばならぬ、と思いつつも、“医師”が邪魔して医師特有のプライドのような嫌らしい性格や行為から未だに脱却出来ないでいる。

こんな悩みを持っている老人です。

今回、当会に入会致しました。皆様、宜しくお願いいたします。

- 佐藤 敏 通 (県立沼宮内病院)
 花 籠 良 一 (いわてリハビリテーションセンター)
 〒石町第22地割字七ツ森16番地243
 高 橋 明 “
 古 町 克 郎 “
 柏 木 一 成 “
 中 島 淳 “

◆ 退 会

- 荻 生 博 子 (滝沢中央病院)
 2月28日

岩手郡医師会役員会

日時：平成7年4月20日(木)午後6:30
 場所：盛岡市 ホテル・メトロポリタン盛岡
 出席者：高橋(牧)、高橋(孝)、西島、八角、
 坂井、根本、佐々木、嶋、上原、篠村、
 及川、岡本、佐藤、高橋(克)

1. 行事予定

1) 郡医師会通常総会開催について

① 県医師会総会

H7. 6. 25(日)

於 県医師会館

② 郡医師会総会

H7. 6. 24(土)

於 メトロポリタン盛岡

2) 春の郡医師会ゴルフ大会

H7. 5. 21

於 安比高原G.C

3) 体育大会開催について

4) 県医師会親睦野球大会

H7. 8. 27(日)

於 矢巾町営グラウンド

5) 救急医療研修会

6) その他

2. 医師会費について

3. 生涯教育について

4. 岩手県医師信用組合について

5. 第7回東北学校保健・学校医大会の一般演題募集

6. 社会保険医療指導者の集団指導について

7. 予防接種の問題について

8. 7年度「社会貢献者表彰」候補者の推薦

9. 会員の入退会

岩手郡医師会役員会

日時：平成7年6月7日(水)P.M6:00
 場所：盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡
 出席者：高橋(牧)、高橋(孝)、西島、八角、
 坂井、及川、篠村、根本、和田、高
 橋(克)、上原、佐々木、嶋、佐藤

○報告

東日本医科学生体育大会への援助について
 学校医活動アンケートについて

○協議

通常総会(6月24日)開催の件

●●●●●●●●●● <編 集 後 記> ●●●●●●●●●●

●最近久々に西根町内の「岩手山焼走り国際交流村」に出かけてきましたが、大変な変わり様にびっくりしました。オートキャンプ場も5月にオープンし、これからの夏休みや土曜日など、大いに賑わうことでしょう。

溶岩流見学コースの遊歩道工事及び宮沢賢治詩碑そばに展望台が新設されていた。

アウトドアに興味のある方はぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

●5月24日、郡医師会副会長で国保西根病院院長の上田靖彦先生が急逝されました。御冥福を心からお祈り申し上げます。今号には郡医師会長及び同病院副院長の細井信夫先生の告別式(5月29日於大泉寺)での甲辞を掲載しました。

●6月24日(土)、郡医師会通常総会が行われ、このとき行われた講演会での吉田先生の肺ガンについては、これからますますふえるであろう呼吸器疾患でもあり、たばこの関係も十分関連性がありそうなので、喫煙者は要注意でしょう。

また、遊佐先生は地元で啄木研究家の一人者として大変参考になるお話しの数々で会場の諸先生方も熱心に聞いておられたように思います。

●あつい夏の高校野球のシーズンとなり、でもこの時期の日照りが農家にとっては秋の実りに影響を及ぼすことにもなり、冷夏ではなく、あつい夏であってほしいと願わずにはおられません。

●「おらほの先生」は休みます。

(M. S記)